

【Web面接 TOPIC】

対面とWeb、形式の違いによる学生の企業への理解度に差はない。
懇親会や定期的な連絡などが理解促進を促す

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 学）のよりよい就職・採用のあり方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

対面、Webという形式の差ではなく、お互いの理解を深める取り組みこそ重要

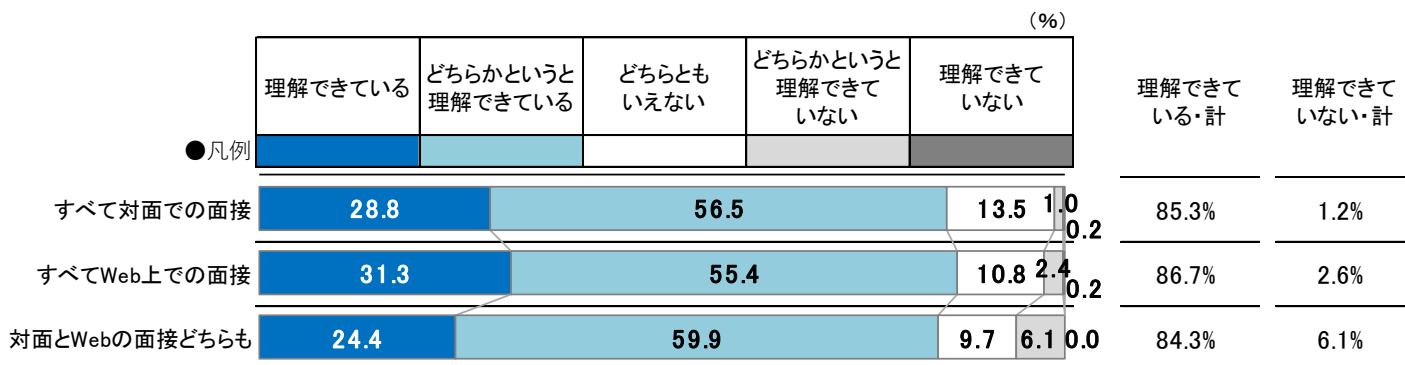


所長 増本 全

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の影響で、今年の就職活動は様変わりしました。今まで主流だった対面の面接に代わってWeb面接も多くなり、学生の多くが、不慣れなWeb面接に不安を感じながら就職活動をしていました。10月に内定書を予定している企業も多くありますが、「Web面接で直接会えていないから、企業のことが理解できていないのではないかと不安」という学生の声や、企業からは「Web選考のみだったため、動機づけが不十分な気がする」といった声も聞かれています。では本当に面接形式によって学生の企業への理解度は変化するのでしょうか。9月1日時点で就職先が確定している2021年卒の学生に「確定している就職先のことを理解できているか」を聴取しました。その結果、面接形式が「すべて対面」「すべてWeb」「対面とWeb」のいずれの場合でも、「理解できている・計」が80%を超えました。企業への理解度について不安視されているWeb面接ですが、実際のところ大きな差はないと言えます。企業への理解度は、対面、Webという形式よりも、学生にどのような情報提供の場を設けたかで変化します。理解度別に情報接点を見ると、「理解している」学生の方がより「内定者懇親会」「社員との懇親会」を経験していることがわかりました。企業は対面、Webなどの検討もさることながら、学生を理解し、また自社を理解してもらうために、いつ誰から何を伝えるかという機会をタイムリーに設けることが重要と言えます。

確定している就職先のことを理解できている

大学生_全体（就職志望者・民間企業への就職確定者/単一回答）※大学院生除く



本件に関する
お問合せ先

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL：03-3211-7117 MAIL：kouho@waku-2.com

確定就職先への理解度別の確定就職先との情報接点

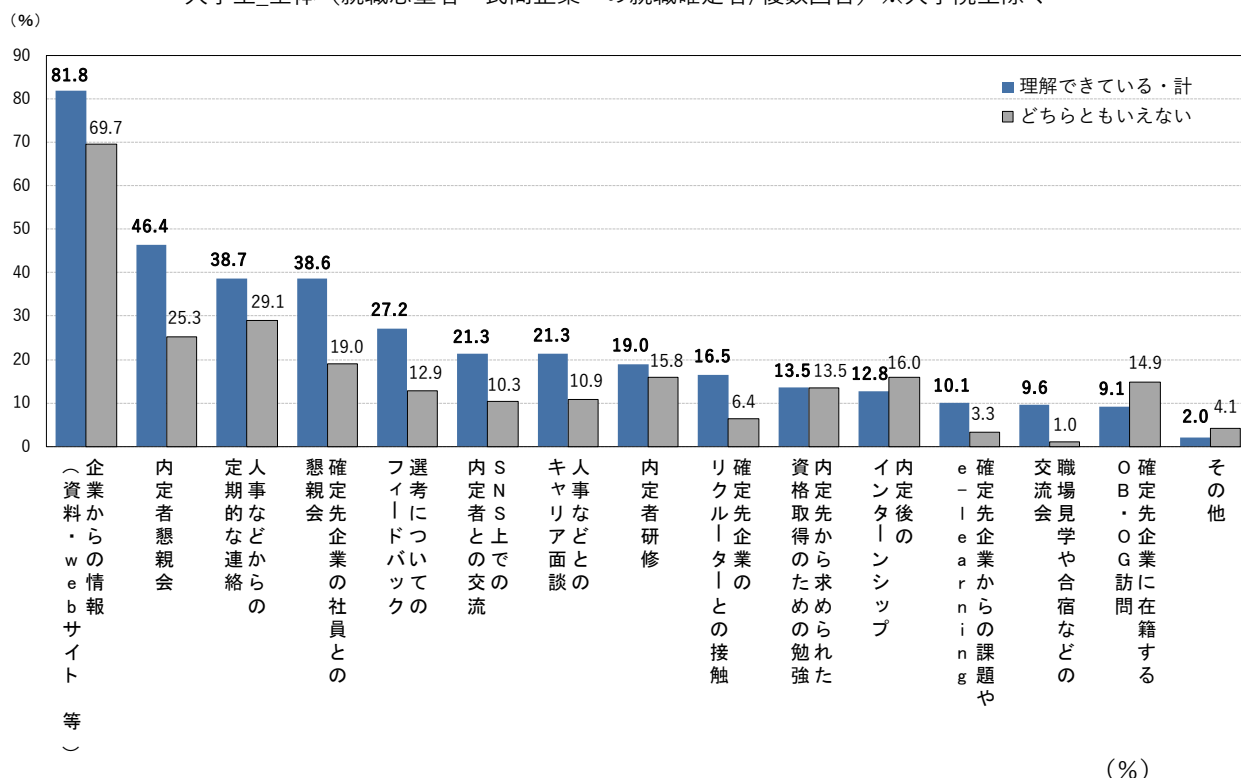
確定就職先との情報接点

・これまでに実施された確定就職先との情報接点は「企業からの情報（資料・Webサイト 等）」が、「確定している就職先のことを理解できている」の「理解できている・計」 81.8%、「どちらともいえない」 69.7%、共に最多であった。

・「理解できている・計」について、次いで「内定者懇親会」46.4%、「人事などからの定期的な連絡」38.7%、「確定先企業の社員との懇親会」38.6%と続いている。

確定就職先への理解度別の確定就職先との情報接点

大学生_全体（就職志望者・民間企業への就職確定者/複数回答）※大学院生除く



これまでに実施された確定就職先との情報接点	確定している就職先のことを理解できている		
	理解できている・計 (n = 577)	どちらともいえない (n = 79)	理解できていない・計 (n = 21)
企業からの情報（資料・webサイト 等）	81.8	69.7	82.1
内定者懇親会	46.4	25.3	33.2
人事などからの定期的な連絡	38.7	29.1	26.1
確定先企業の社員との懇親会	38.6	19.0	3.4
選考についてのフィードバック	27.2	12.9	28.1
SNS上での内定者との交流	21.3	10.3	9.0
人事などとのキャリア面談	21.3	10.9	12.0
内定者研修	19.0	15.8	15.1
確定先企業のリクレーターとの接触	16.5	6.4	0.0
内定先から求められた資格取得のための勉強	13.5	13.5	3.9
内定後のインターンシップ	12.8	16.0	23.8
確定先企業からの課題やe-learning	10.1	3.3	7.8
職場見学や合宿などの交流会	9.6	1.0	0.0
確定先企業に在籍するOB・OG訪問	9.1	14.9	7.6
その他	2.0	4.1	10.3

就職活動に対する考え

内定後、企業との接点がないと不安の声

- ・企業からの定期的な連絡や内定者との交流がないと不安の声も。
- ・研修や懇親会などで、社員や内定者と交流することで安心や、入社に対する心構えに繋がっている。
- ・Web選考のみでオフィスを訪れていないことから入社後の働くイメージができないという声も。

就職活動に対する考え

大学生_全体（就職志望者・就職活動経験者/自由回答） ※大学院生除く

コメント	キーワード
内定先からの連絡があまりなかったり、同じ内定者との交流がないため不安。	内定者との交流
内定決定後何も連絡が無いので少し心配。	企業からの連絡
就職活動から入社までの空白期間が長いので、日が経つにつれてどんどん不安になってしまおうと感じている。	企業からの連絡
内定後、定期的に企業から連絡をもらえると安心できると思う。	企業からの連絡
選考が全てweb上で進み、内々定をいただいたので、1度も本社やオフィスを訪れたことがない。内定式もオンラインが決定したため、入社後の働くイメージがあまりできていないのが不安です。	Web上選考 オンライン内定式 入社後の働くイメージ
コロナの影響で就活が大変だったという声をよく聞くことから、早めに行きたい企業に目をつけ、インターンシップに行ってもそのまま面接に行けたと思っています。しかし内定をいただいたが、その後の連絡がないのが心配です。企業の方も忙しいからかもしれませんが、その際どうすればいいかを企業と就活生の間に入ってこのようなところで手を差し伸べて欲しかった。	企業からの連絡
内定者懇談会にも2回参加し、社員さんや同期のことを少しずつ理解することができてきていて、入社に対して徐々に心構えができてきました。	内定者懇談会 入社的心構え
周りの就職活動状況や社会情勢を見て、早めに就職活動が終了したことに安心している。また、内定先ではWeb上ではあるが、研修や懇親会も行ってくださっており、他の内定者に関わることもできるため、ありがたく思っている。	Web上での研修・懇親会 内定者との交流
内定者懇親会がオンライン形式ではあったものの開かれ、その後も人事の方から定期的に連絡をもらっているため、常に気にかけてもらっているのだなと感じている。しかし、このままだと内定式もオンライン形式になりそうで、なかなか同期になる人や社員さんと対面で会うことができないのは、少し残念を感じる。	企業からの連絡 対面での交流
自分の伝えたいことをしっかりと相手に伝え、納得のいく形で第一志望の就職先から内定を頂けたので、これまでの就活に満足しており頑張ってきてよかったと思っています。	就活への納得
内定を貰うとこんなにも安心するんだなと思いました。これまで16ほどの企業から落ちましたが、フィードバックを頂けた企業はひとつもありませんでした。後学のために欲しかったです。	フィードバック

調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近付けるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2021年卒：2020年9月1日時点

調査対象 | 2021年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2021』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,193人（内訳：大学生3,323人/大学院生870人）

調査期間 | 2020年9月1日～9月7日

集計対象 | 大学生 1,002人/大学院生 404人

※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2021/>

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者 + 志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

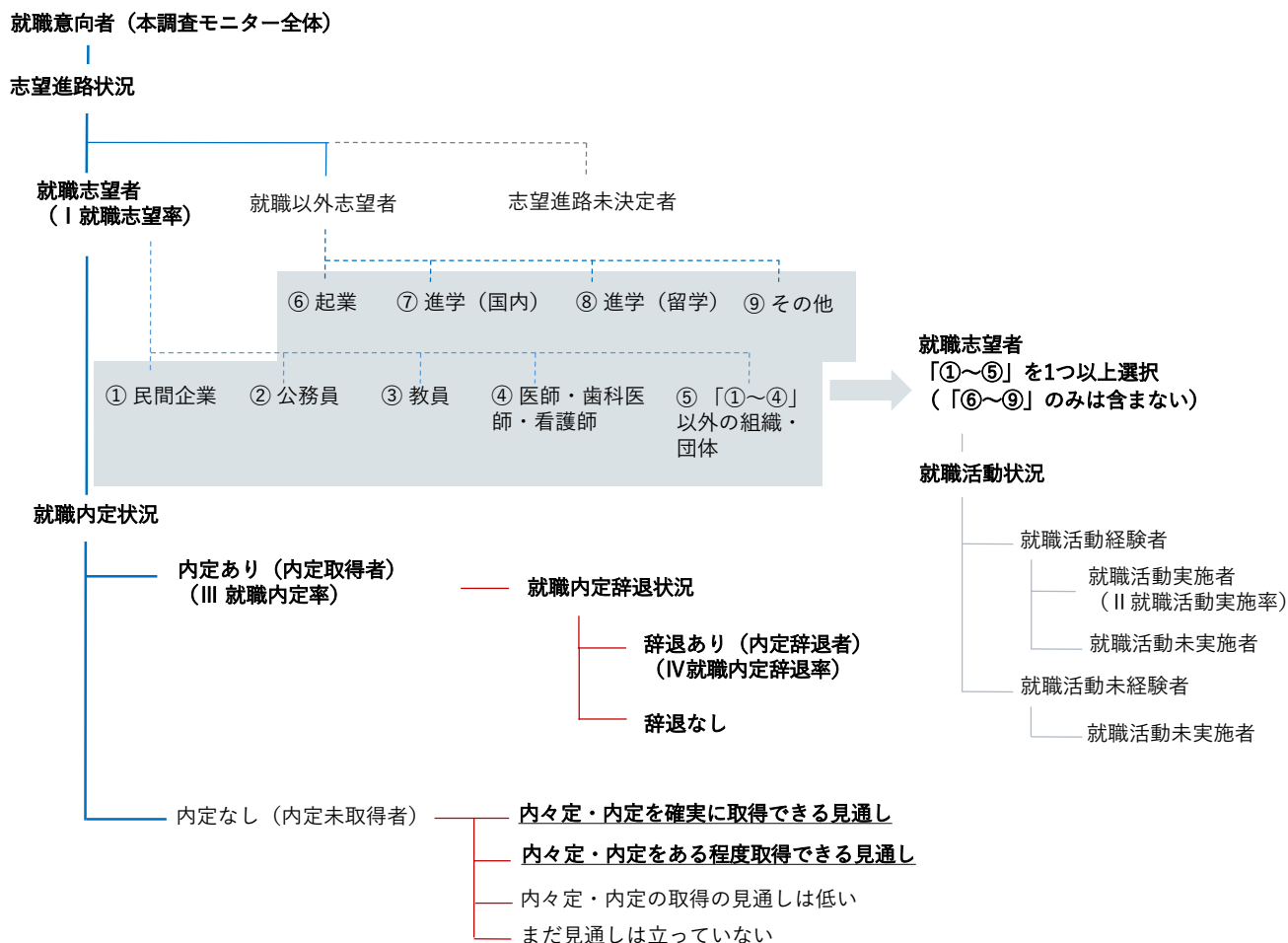
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

● 就職意向者	=	当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
● 就職志望者	=	当月、就職を志望している者
● 就職活動実施者	=	当月、就職活動を実施している者 (※)
● 就職活動経験者	=	当月までに就職活動の経験がある者
● 就職内定取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験のある者
● 就職内定未取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
● 進路確定者	=	当月、進路が確定している者
		進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
● 就職内定辞退者	=	当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

≪地域区分の内訳≫

○ 関東	=	東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
○ 中部	=	静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
○ 近畿	=	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
○ その他地域	=	「関東」「中部」「近畿」以外の地域

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者